

平成29年度 アナン学園高等学校 学校評価  
(平成28年度の教育活動に対する学校評価)

1 めざす学校像

校訓に基づいた学校経営の実践と地域から信頼される学校づくりをめざす

- 1) 校訓を基に教育をおこなう
  - ① 感謝の気持ちを忘れず
  - ② 相手の立場に立って考えられる
  - ③ 何事にも礼儀を守り
  - ④ 社会に貢献する人間の育成
- 2) 新しい学校づくりに力を注ぐ
  - ① 普通科(学力の向上)の充実をはかる
  - ② 看護科(国家試験合格率の向上)の充実をはかる
  - ③ 専門教員を揃える(看護科・普通科・調理科)

2 中期的目標

- 1 確かな(学力向上への)取り組み
  - 1) 進路総合コースの充実
    - ① 2年次からのコース選択「アドヴァンス」「キャリア・進学」
    - ② 進学特別補講の取り組み
  - 2) 教員の指導力向上の取り組み
    - ① 校内・校外研修の取り組み
    - ② 初任者への公開授業の取り組み
    - ③ リーダーの養成
  - 3) 自学自習の習慣化に向けての取り組み
    - ① 平素の授業での指導の徹底
    - ② 集中力を身につけさせ、学習効果を上げさせる。
    - ③ 授業のみならず課題学習への重点的な取り組み
    - ④ 実力テストの実施
  - 4) 進路指導の充実
    - ① 推薦・AOのみならずセンター試験に向けての取り組み
    - ② 就職(大手企業)指導の充実
    - ③ 受験対策及び国家試験対策
- 2 豊かな心を育むための取り組み
  - ① キャリア教育と人権教育の取り組み(進路保障)
  - ② 普通科在籍者への取り組み(受験及び就職対策)
  - ③ 看護科の臨地実習の充実
- 3 学校の組織力向上の取り組み
  - 1) 学校自己診断の実施
  - 2) 保護者との連携
  - 3) 地域連携
  - 4) 広報活動の充実
- 4 教職員の資質向上をめざした体制づくり
  - 1) 授業力向上に向けた具体的(授業研究・研修等)な取り組み
  - 2) 教科・進路指導部を中心に学力の向上と進路実現に向けた取り組み
  - 3) 学科間の連携
  - 4) 教職員間の連携

### 3 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

平成28年度 学校評価について

平成24年度より本校では、保護者や生徒からの学校評価や教職員による学校評価を実施しています。

平成28年度のアンケートは平成29年2月に保護者・生徒・教員に対して行いました。

アンケートは各項目に対し、[A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまり当てはまらない D：まったくあてはまらない]の4段階で評価し、A+Bを肯定的評価、C+Dを否定的評価としました。

下記の表は、保護者・生徒・教員のアンケート結果を(60%以上の肯定的、否定的評価)についてまとめたものです。

アンケート結果を謙虚に受け止め早々に取り組めるところは敏速に取り組むたいと考えています。保護者に対して、学校経営に関する情報については、文章配付や学校ホームページを活用し提供することに努めていきます。

最後に、この場をお借りして、アンケートにご協力頂きました方々にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

#### 【自己評価アンケートの結果と分析及び学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成29年7月]	学校評価委員会からの意見
<p>○ 生徒からの回答 (60%以上の肯定的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行くのが楽しい。(69%)</li> <li>・自分の学級は楽しい。(80%)</li> <li>・この学校には、他の学校にない特色がある。(68%)</li> <li>・評価の仕方や基準について、事前に示されている。(64%)</li> <li>・学習の評価については、納得できる。(63%)</li> <li>・将来の進路や生き方について考える機会がある。(66%)</li> <li>・学校は、進路についての情報を知らせてくれる。(61%)</li> <li>・学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。(62%)</li> <li>・人権について学ぶ機会がある。(64%)</li> <li>・学校で、男女は平等に扱われている。(61%)</li> <li>・学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。(64%)</li> </ul>	<p>※生徒たちは、学校に来ることが楽しいと思っている。その要因は、クラスによき友人がいるところにある。</p> <p>※将来や、進路についても真剣に考えている様子うかがえる。</p> <p>※人権について学んでいることを意識している様子うかがえる。</p>
<p>(60%以上の否定的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、実験・観察・実習をする機会がよくある。(60%)</li> <li>・校長先生の話は興味深くわかりやすい。(67%)</li> <li>・学校のホームページをよく見る。(69%)</li> </ul>	<p>※学習面では興味付等、やる気を起こさせるための取り組みが必要である。日々の学習が、将来の進路につながることを認識させることが必要。また、教員の指導力向上のため研修や研究授業、授業見学等の取り組みも必要である。</p> <p>※28年度より制服が変更になったので、制服に関する不満が多い。実用面での不満も多いので、委員会を立ち上げ検討している。</p> <p>※教室や空調等設備面での不満が多い。生徒に直接かかわる設備の整備が必要である。29年度は空調機器の入れ替え、修理を徐々にではあるが行っていく。</p> <p>※専攻科で直前の時間割変更についての不満が多くあった。変更がある場合は出来るだけ早く伝える努力が必要だ。</p>

<p>○ 保護者からの回答 (60%以上の肯定的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。(71%)</li> <li>・子どもは、自分の学級が楽しいといっている。(66%)</li> <li>・先生は子どもを理解している。(69%)</li> <li>・この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。(68%)</li> <li>・学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。(65%)</li> <li>・通知表は、子どもの学力や達成度がわかりやすく表すように工夫されている。(74%)</li> <li>・先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。(78%)</li> <li>・学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる。(76%)</li> <li>・先生は子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。(71%)</li> <li>・学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。(77%)</li> <li>・子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。(70%)</li> <li>・学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。(73%)</li> <li>・文化祭や体育祭・宿泊行事などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。(61%)</li> <li>・学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。(66%)</li> <li>・子どもは、学校に友達がいるといっている。(96%)</li> <li>・学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。(66%)</li> <li>・地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に知らされている。(73%)</li> <li>・学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。(61%)</li> <li>・学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。(74%)</li> <li>・学校では子どもに関する個人情報を守られている。(85%)</li> <li>・学校は、教育情報について、提供の努力をしている。(64%)</li> </ul>	<p>※アンケート結果からは子供は学校へ楽しく登校し自分の学級が楽しいと感じている。これは、生徒からの回答とも一致している。学校の教育への取組みにも理解していただいていることがうかがえる。また、教員の子供への評価や指導法に対しても理解していただいていることがうかがえるので、今後もより良い教育が行えるよう努力していくことが必要だ。</p>
<p>(60%以上の否定的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この学校の部活動は活発である。(61%)</li> <li>・学校のホームページをよく見る。(64%)</li> </ul>	<p>※部活動について活発ではないと感じられている。文科系のクラブは年々活発になっているが、強化クラブ以外の体育系クラブが活発になるよう考えていかなければならない。指導者も必要だと思われる。</p> <p>※施設・設備面も満足されていない。電子黒板の導入や、教材の充実を図っているので、授業に役立てることで今後理解を得られると考える。空調も徐々に新しく更新している。</p> <p>※アンケート結果の数字には表れていないが、意見として学校の教育活動に対して認知されていない意見があった。このことは、説明会等への保護者の出席率の低さからも伺える。保護者との連絡を密にし、学校の教育活動への理解を深めていただく努力が必要である。</p>

○教員からの回答

(60%以上の肯定的評価)

- ・学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。(68%)
- ・各学年の教育計画の作成に当たって、教職員で話し合っている。(64%)
- ・教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。(64%)
- ・教職員は生徒の意見をよく聞いている。(86%)
- ・学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応じている。(64%)
- ・年間の学習指導計画について、各教科で話し合っている。(77%)
- ・各教科において、教材の精選・工夫を行っている。(86%)
- ・この学校では少人数指導を取り入れるなど、指導方法の工夫や改善に努めている。(77%)
- ・生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。(64%)
- ・教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。(67%)
- ・この学校では、生徒指導において、家庭との連携ができています。(82%)
- ・生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができています。(77%)
- ・この学校では、生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。(64%)
- ・この学校は、奨学金教育教材等を活用して奨学金制度等について指導している。(64%)
- ・学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。(64%)
- ・生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。(68%)
- ・人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。(64%)
- ・この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。(68%)
- ・事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。(68%)
- ・学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。(62%)
- ・コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている。(68%)
- ・公文書の収受、発送、保管に対する管理がなされている。(64%)
- ・学校から保護者あてに公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが生かされている。(73%)
- ・指導要録の記入が年度内に適正に行われている。(68%)
- ・教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。(68%)
- ・情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。(68%)

※教員側は、それぞれの生徒の様子等を把握し、教員間で連携して教育活動に取り組んでいると考えている。また、各家庭との連絡も密に取れていると考えている。学校と保護者の考え方には、それほど大きな違いはないと考えている。また、保護者からも一定の理解は、得られていると考える。

※生徒指導や人権教育においても十分な指導がおこなえていると考えている。

※教育相談についても認知されているので、うまく利用されていることがうかがえる。

※電子黒板も授業で活用されているので、今後もICT機器の充実を図っていきたい。

<p>(60%以上の否定的評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。(68%)</li> <li>・学校として、部活動の活性化について工夫している。(73%)</li> <li>・学校として、在籍している外国から来た生徒に対し支援する体制がある。(77%)</li> <li>・環境・国際理解・福祉ボランティアなど現代的教育課題を教育活動に積極的に取り入れている。(64%)</li> <li>・学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(64%)</li> <li>・学校運営に教職員の意見が反映されている。(77%)</li> <li>・職員会議をはじめ各種会議が、教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。(68%)</li> <li>・会議の内容が教育活動や学校運営に生かされている。(77%)</li> <li>・教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。(64%)</li> <li>・施設・設備の拡充は、長期的見通しに立って計画されている。(82%)</li> <li>・学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。(77%)</li> <li>・教員の間で、授業方法等について検討する機会を積極的に持っている。(64%)</li> <li>・研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。(64%)</li> <li>・教職員は保護者会活動に参加している。(76%)</li> </ul>	<p>※生徒の学力差が大きく、個々の生徒にあった授業ができていない部分がある。朝学等で基礎学力の充実を図っているが、重点的な課題として教師全体で考えていかなければならない。</p> <p>※施設・設備に対する不満が多い。経済的な面で無理なこともあるが、現場の教員の意見が反映されることが必要である。</p> <p>※学校運営に教職員の意見も反映される環境作りが必要である。学校側と意思統一した共通理解のもと、生徒と接し、きめ細やかな指導に専念する努力が必要である。</p> <p>※研究授業や研修の報告会を行い、教師間で授業方法や指導法について検討していく機会を作らなければならない。</p> <p>※保護者とは情報を密にし、互いに忌憚のない協力的な意見を出し合って学力向上、心の教育、人づくりをめざしたい。</p>
--	--

4 本年度の取組内容及び自己評価

	重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	取組内容の自己評価
取 り 組 み ①	確 かな （学 力 向 上 へ の ） 取 り 組 み	<p>1) 進路総合コースの充実 ① 2年次からのコース選択</p> <p>②進学特別補講の取組</p> <p>2) 教員の指導力向上の取組 ①校内・校外研修の取組</p> <p>②初任者への公開授業の取組</p> <p>③リーダーの養成</p>	<p>1) ①適切なコース選択ができたか。指導計画は完成したか。</p> <p>②講師の手配は出来たか。計画どおり実施されたか。</p> <p>2) ①研修は実施されたか。</p> <p>②初任者への公開授業は実施されたか。</p> <p>③リーダーの養成は出来たか。</p>	<p>1) ① 2学期より予備調査を行い、懇談で保護者への説明、教員間での話し合いを経て、3学期に決定した。コース選択は適切にできたと考える。 指導計画は完成した。</p> <p>②講師の手配はできた。講師、生徒との連携がうまくいかず、生徒の参加がなく中止になった日があったので、連携を密にしなければならない。</p> <p>2) ①校内研修は講師を招いての講演会を毎月、看護科ではベテランの教員による指導法の勉強会を開くことができ充実した。校外研修の参加はまだまだ少ないので、研修の周知徹底を行い参加を促すことが必要。 生徒からの授業アンケートを行った。教員はアンケート結果を授業法の向上に活かして欲しい。</p> <p>②公開授業は行っていない。授業法や指導方法の強化のためにも公開授業は必要だ。</p> <p>③それぞれの学科でリーダーは育っているが、全体のリーダー養成が必要。教職員間での多面評価を導入したので、リーダーの養成に活かしたい。</p>

		<p>3) 自学自習の習慣化に向けての取組</p> <p>①平素の授業での指導の徹底 ②集中力を身につけさせ、学習効果を上げさせる。</p> <p>③授業のみならず課題学習への重点的な取り組み。 ④実力テストの実施</p> <p>4) 進路指導の充実</p> <p>①推薦・AOのみならずセンター試験に向けての取組</p> <p>②就職(大手企業)指導の充実</p> <p>③受験対策・国家試験対策</p>	<p>3)</p> <p>①②平素の授業で指導の徹底、集中力を身につけさせられたか。</p> <p>③課題学習の徹底は出来たか。 ④実力テストは実施したか。</p> <p>4)</p> <p>①センター試験に向けての取組を行ったか。</p> <p>②就職指導は行ったか。</p> <p>③受験対策・国家試験対策は行ったか。</p>	<p>3)</p> <p>①②自学自習の習慣化をめざし、平素の授業で指導はしたが、集中力を含め、まだまだ身につけていない。繰り返し指導していくことで身につけさせたい。 ③課題学習は朝学で行ったので習慣づけられている。 ③実力テストは普通科では3回、看護科では5回行った。専攻科では模試を6回行った。</p> <p>4)</p> <p>①進学特別補講で行っている。</p> <p>②普通科では、進路説明会を2回行った。看護科では病院対象の就職説明会を行った。大手の病院にも就職できたので成果があった。</p> <p>③普通科では、受験対策を進学特別補講で行った。国家試験対策は看護科専攻科に模試や弱点補強講座、国試解説授業、過去問解説を行った。</p>
取組み②	豊かな心を育むための取り組み	<p>①キャリア教育と人権教育の取り組み。</p> <p>②普通科在籍者への取り組み</p> <p>③看護科の臨地実習の充実</p>	<p>①キャリア教育と人権教育は行ったか。</p> <p>②受験及び就職対策は行ったか。</p> <p>③臨地実習の拡充と整理は行ったか。</p>	<p>①キャリア教育は職業適性検査2回、進路説明会2回行った。人権教育は2回行い、生徒アンケートでも認識されていた。</p> <p>②受験対策は進学特別補講で行った。就職対策は進路説明会や職業適性検査を行い生徒の意識づけに役立った。</p> <p>③実習病院の受け入れ人数を調整、新規受け入れ病院も増やし拡充に努めた。</p>

取組み③	学校の組織力向上の取組み	<p>1) 学校自己診断の実施</p> <p>2) 保護者との連携</p> <p>3) 地域連携</p> <p>4) 広報活動の充実</p>	<p>1) 自己診断を行ったか。</p> <p>2) 保護者との連携をし、互いの理解度はましたか。</p> <p>3) 地域との連携はできているか。</p> <p>4) 広報活動は充実していたか。</p>	<p>1) 保護者、生徒及び教員にアンケート実施を行った。アンケート集計と考察はできた。</p> <p>2) アンケート結果にも表れているが、連携をし互いの理解度が増しているとは言い難い。学科通信の回数を増やすなど、学校への関心がより高くなるような方法を検討し、実行することにより連携できると考える。今後は、連携し互いの理解度が増すよう努めなければならない。</p> <p>3) 今年度より、教職員が校門であいさつ運動を実行し、地域との連携を高めている。ミュージカルコースや調理科の発表会を通じて、地域との連携を考えている。</p> <p>4) ホームページは充実した。教員の塾訪問も行っている。オープンキャンパスも全教職員で取り組んでいる。入試広報室も積極的に説明会参加や広告の拡充で広報活動は充実している。</p>
取組み③	教職員の資質向上を目指した体制づくり	<p>1) 授業力向上に向けた具体的(授業研究・研修等)な取り組み。</p>	<p>1) 授業研究・研修を行ったか。</p>	<p>1) 初任者を含めて校内研修を行うことができた。授業研究はできていない。定期的に講演会を開いた。</p> <p>看護科ではベテラン教員を講師にし指導法の勉強会を開いた。また、講師を招き、模擬授業等で指導法の勉強会を開いた。</p> <p>今後は、授業研究を積極的に取り入れなければならない。</p>



		<p>2) 教科・進路指導部を中心に学力の向上と進路実現に向けた取り組み。</p> <p>3) 4) 学科間の連携、教職員間の連携</p>	<p>2) 学力向上と進路実現に向けた取り組みはおこなえたか。</p> <p>3) 4) 連携はできたか。</p>	<p>2) 生徒への取り組みは行えたが、教員に対してはあまりおこなえていない。教員への進路説明会等を行わなければならない。</p> <p>3) 4) 学科ごとの特性を生かしつつ、共通の行事をとおして生徒や教師が交流することによりお互い理解している。</p> <p>教職員間は今年度より、多面評価を取り入れ、自他ともに理解し連携できるように努めている。</p>
--	--	---	---	---